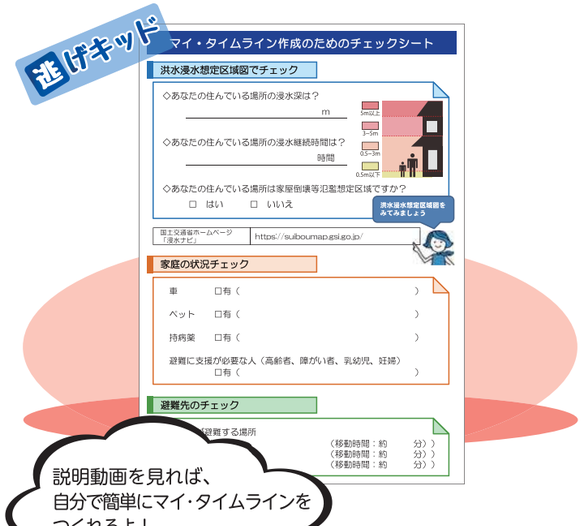
STEP1 あなたの水害リスクを知ろう！

各市区町村が作成している「洪水ハザードマップ」を確認して、自分が住んでいるところのリスクを調べましょう。
「マイ・タイムライン作成のためのチェックシート」で、あなたの家の状況を整理しましょう。



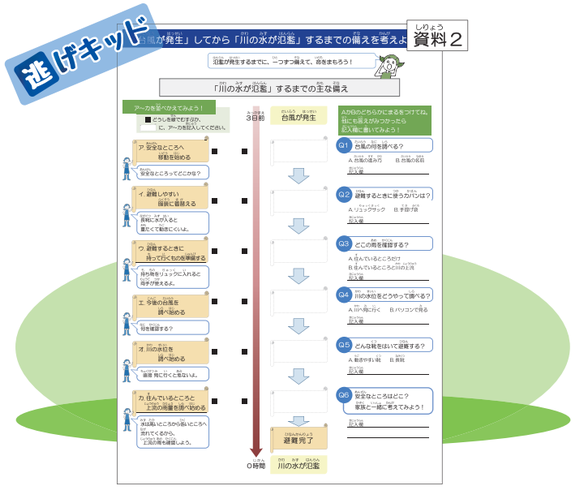
Youtube 逃げキット使い方ガイド
Part2 リスクを知ろう

STEP2 タイムラインの考え方を知ろう！

河川の氾濫は、地震と違って徐々に危険が増してくる、ということを確認します。
「資料１」で、川が氾濫するまでにどういう状況があり、どのような経過をたどるのかを学びましょう。

Youtube 逃げキット使い方ガイド
Part3 タイムラインの考え方を知ろう(1)

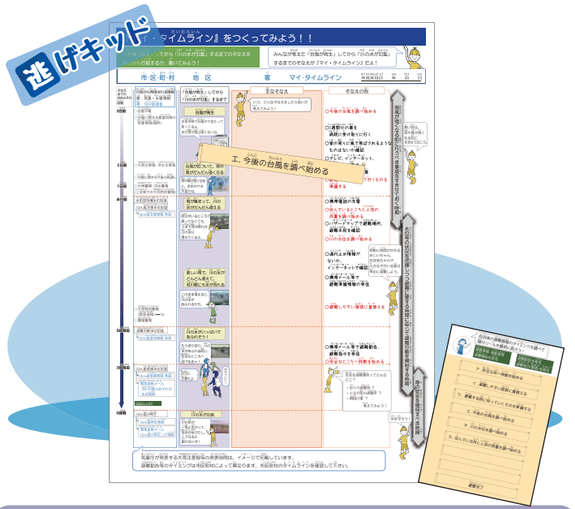
川が氾濫するまでの時間に、**自分がどのような流れで準備をするかを考えます。**
ここでは、行動の並べかえやクイズをしながら、自分が余裕をもって、慌てずに行動できるような順番を考えましょう。



Youtube 逃げキット使い方ガイド
Part4 タイムラインの考え方を知ろう(2)

STEP3 マイ・タイムラインをつくろう・つかおう！

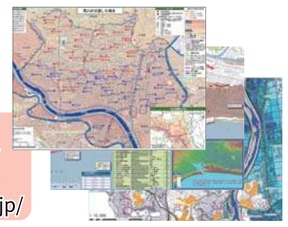
ステップ２で並べた**防災行動を、時間の経過を考えながら並べて、マイ・タイムラインを完成させる**のがステップ３です。
行政から発表される気象情報や避難情報、川の水位などをもとに、どのタイミングで、どの防災行動をとるのかを考えて、自分だけのタイムラインを作りましょう。



Youtube 逃げキット使い方ガイド
Part5 マイ・タイムラインを作ろう、使おう

水害リスクをチェック

- 「洪水ハザードマップ」では、水害リスクと避難に必要な情報を確認できます。市区町村の窓口か、ホームページから閲覧・入手できるほか、「ハザードマップポータルサイト」から調べることもできます。



ハザードマップポータルサイト
https://disaportal.gsi.go.jp/

家庭の状況をチェック

- 水害と避難に関わる、自分の状況を確認して、チェックシートに書き込みましょう。

避難先をチェック

洪水ハザードマップなどで、自分が避難する先を確認しましょう。
近くの避難所が、水害時にも安全とは限らないことに注意が必要です。

ポイント！ 洪水ハザードマップで、自宅や自分が良く行く場所を見てみましょう。その土地の水害リスクや避難先・経路を確認することができます。

時間の経過に従って、台風、雨、川の水位と、注意するべき情報も増えていきます。
時々刻々と変化していく状況に対して、必要な情報をどこから入手するか、確認をしておきましょう。

ここに示した以外にも、様々な方法で情報が発信されています。自分が使いやすい情報を見つけておこう。

台風の動きを調べる

テレビの天気予報や、パソコン、スマートフォンなどで、気象庁のホームページにアクセスすれば、台風の位置や強さ、今後の台風の進路や暴風域などを確認できます。

気象庁ホームページ	https://www.jma.go.jp/jp/typh/

雨の様子を調べる

パソコン、スマートフォンなどで、「川の防災情報」または気象庁のホームページにアクセスするか、NHK 総合テレビのデータ放送（ｄボタン）を見ると、雨に関する警報等や雨量観測所のリアルタイム情報、レーダ雨量（XRAIN）情報を見ることができます。

川の防災情報	https://www.river.go.jp
気象庁ホームページ	https://www.jma.go.jp/jp

ポイント！ 地震災害と違って、洪水は災害が発生するまでに時間があるので、命を守るために準備をしておくことができます。

川の水位や様子を調べる

パソコン、スマートフォンなどで、「川の防災情報」ホームページや、その川を管理している河川事務所等のホームページにアクセスすると、川の水位のリアルタイム情報、川の洪水予報、ライブ映像などを確認できます。

水位観測所付近の川の断面図

ライブカメラ映像

川の防災情報	https://www.river.go.jp

水位・雨量の状況を調べる　CCTV カメラのリアルタイム映像を見る

ポイント！ 備えの順番には、これが絶対！という正解はありません。自分の状況に合った順番を、自分で考えておくことが大事です。

基本的な行動だけではなく、自分で必要と思う準備を加えていくことで、オリジナルのタイムラインが出来上がります。

ポイント！ 完成したら、いつでも見える所に貼っておきましょう！

マイ・タイムライン使用時の心得

河川の氾濫はマイ・タイムラインで想定したとおりに進行するとは限りません・・・

- 心得 1 あくまで行動の目安として認識する。
- 心得 2 気象警報や避難情報等をこまめに収集・確認する。
- 心得 3 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に防災行動の実行を判断する。

マイ・タイムラインを見直そう！

マイ・タイムラインは、一度作ったら終わり、というものではありません。
まち歩きをして避難路を再確認したり、ご近所の方と相談したり、ご自身の生活に合わせて見直していくことが大切です。